

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



双方向の情報交流

町田市議会

所属: 志政クラブ

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127

市長日程は議会優先と求める

多摩ニュータウン環境組合（多摩市・八王子市・町田市で構成）の議会本会議日程で、石阪市長は過去 1 年で 2 度も欠席していたことは市長本来の仕事に反するのではないかと、本会議の一般質問で尋ねました。

まずは、そのことを事実として確認することを尋ね、次いでどのような理由で欠席したのか問いました。その内の 1 回は市長会の理事会であることが事前にわかっていたために、そのことは聞かないと説明し、他の 1 件のみを問いました。

私の当初質問には部長が答弁に立ち、先約している市内団体の会合に出席したと答えました。本来、この種の団体会合の出席は副市長や部長などの代理で十分に間に合います。しかし、議会の会議は行政の市長（こうした事務組合では、管理者）が開催するものです。町田市長はそこでは副管理者を務めており、理事者の一角を担う立場であり、欠席の場合は代理が効かない（空席状態）のは当然のことです。

この多摩ニュータウン環境組合は、町田市内の一部地域のごみ焼却をお願いしている施設であり、そのため独自に議会存在し、私はその議員を務めています。重要な仕事だと思っています。今後、決算審査や来年度の予算審議の予定まで説明すると、最終的には石阪市長自身が答弁し、「議会の日程は重要と考えており、優先して出席する」との趣旨の答弁があり、その言葉は、私も容認できるものでした。よもや、今後 1 年間、他の要件で出かけてこの議会日程に町田市長が欠席することはないと思います。

結局赤字事業なら結果責任

鳴り物入りで始まった、公園駐車場の有料化ですが、当初の計画がずさんでこのたび大幅変更の条例改定案が出てきました。



私は、公園駐車場の有料化の条例改正案を実施してもまだ年間 1,800 万円のマイナスの収支見込みとなっており、そもそもの見通しのまずさによる短期間の方針変更の責任を問いました。部長は、駐車場の利用台数の見込みは正しかった。有料化して料金を払う台数が考えていたより少なかったために、収支にマイナスが発生した。その改善のため、支出を削減する方法で平日無料として、車が集まる土・日のみを有料化を残す方法とし、収支のマイナス幅を少なくすると答えました。市長は、有料化による収入見込みに相違があった。そのために収支にマイナスが起きており、それを縮減する条例改正案を出したことで責任を取ったと考えると答弁しました。当初の条例案では、最初に収支はマイナスにならないと議会の本会議で見栄を張った結果でしたが大きな赤字が生じ、今回の条例案に変えても相当額の赤字です。

前市長時代は、こうした場合に市長などの理事者が減給などの責任を負っていましたが、この慣例を石阪市政は踏襲しない考えでしょうか。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



常時、インターン生を募集
集中です。



携帯QRコード
でブログ閲覧

インターン生記：野村 南

次に吉田さんの元インターン生でもある、国会職員の方と、お昼をご一緒しながらお話をさせて頂きました。その方は元インターン生ともあって、このインターンシップで学んだことや、今のお仕事について聞かせて頂くことができました。その方はこのインターンシップを経て、このお仕事に興味を持たれたそうなので、私もあと数回インターンシップをさせて頂く中で、将来像が見えてきたら良いなと思いました。

次にブラジル大使館に行きました。そこで大使館職員の方にご挨拶をさせて頂きました。私自身、普段から「大使館」という言葉をあまり聞き慣れないので、どのようなお仕事をされているのかをお聞きしました。ブラジル大使館で働くブラジル人の方は、日本の外務省のようにブラジルから来ている国家公務員だそうで、ブラジル大使館で働く日本人はブラジル大使館が雇っていて、国家公務員ではないということを知りました。



第 32 期研修生 野村 南(昭和女子大 2 年生)

インターン生記：池場 早貴

前回お邪魔させていただいた桜雲会さんから、点字の絵本を送っていただきました。点字で 50 音や数字やアルファベットを覚えるものです。点字を勉強する人たちはこういったもので勉強することが分かりました。また、子供たちが楽しく学べるように、50 音のところは物語のようになっていて、工夫されていると思いました。このような絵本が学校の図書館などにも置かれ、晴眼者のかたでも気軽にふれることができるようになればいいなと感じました。

第 32 期研修生 池場早貴(昭和女子大 3 年生)



(点字絵本 おぼえちゃ王 編集発行 社会福祉法人 桜雲会 2000 円+税)

(吉田注：) この本は、駅前で駐輪している自転車利用者から点字ブロックが軽視されている問題で、市議会の議員一般質問した際に、演壇で紹介したものです。なお、今回はインターン生の体験記が長文でしたので、2 人分とも関連する文の一部を掲載しました。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp